

今号の内容 I. キャリア教育推進 II. 子どもたちの夢をはぐくむ事業 III. 中高連携連絡会議
IV. 保・幼・小連携教育研修会 V. 小林雅英野球教室

I. キャリア教育の推進について

子どもたちが「生きる力」を身に付け、様々な課題に柔軟にたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようにするための体系的なキャリア教育の推進が求められています。小学校での職場見学、中学校での職場体験、高等学校での就業体験について、発達段階に応じた目標や取組みになるように、関係機関と一体となってキャリア教育を推進することが大切になります。

このような状況の中、中学校では2年生を対象とした職場体験を様々な形式で行っているところもあるようです。様々な機関等を訪問することで将来へ向けた職業観が芽生えていることと思われます。こういった見学場所の中に、「山梨県立宝石美術専門学校」や「山梨県立産業技術短期大学校」などの県関係の教育施設、事業所等を含めてみてはいかがでしょうか？高校卒業後を見据えた進路情報の提供が可能だと思います。来年度の計画の参考にして頂ければと思います。

II. 子どもたちの夢をはぐくむ事業（明日の風10周年記念）

＜JULEPS（ジュレップス）コンサート 11月23日（火）大月市民会館＞

子どもたちに素晴らしい生の歌声をとおして夢や希望を育ててもらおうと、北都留地域教育推進連絡協議会が設立10年を記念して行ったコンサートです。心が洗われる歌声に主に親子連れを中心に会場全体が魅了されていました。「旅立つ日」「バトンタッチ」では歌詞を聞いたお父さんの目に涙が…。家族の絆、愛、心、人として何が大切かを再認識した暖かい素敵なコンサートでした。



（会場と一体となった歌声）



（花束贈呈後記念撮影）



（コンサート終了後の握手）

III. 第10回生徒の健全育成をめざす中・高連携連絡会議

11月30日（火） 桂高等学校＜桂晟館＞

参加校：谷村工業高等学校、桂高等学校、

都留第一中学校、都留第二中学校、東桂中学校、西桂中学校

主催：南都留地域教育推進連絡協議会

各学校の情報交換、現在抱えている問題点や取り組み等の報告、将来的連携のビジョン、特に出席授業の有用性が話題に上りました。また、中学校側から高等学校に生徒指導上の質問がなされ、有意義な質疑応答



となりました。中学校と高等学校の敷居が低くなってきているという意見も出され、今後の連携が生徒の健全育成に大きな効果をもたらすことを期待させる会議でした。

IV. [富士・東部地区]「保・幼・小連携教育研修会」

義務教育課主催

平成22年11月9日(火) 大月市民会館 視聴覚室

郡内地区の保幼小の先生方が集まり、以下の3つの研究成果・事例発表があり、その後山梨大学准教授の中村和彦先生を講師にパネルディスカッションが行われました。以下に発表内容とまとめを載せました。

① 子どもの興味から展開された協同的な活動について

大月キリストの教会幼稚園

【まとめ】 友達と共通の目的を見つけ、自発的に活動をしていく中で、仲間の刺激や影響を受けながらお互いの良さを受け止め合い、協力していく喜びを味わうことを体験していくことが大切であり、その学びが小学校へ繋がっていく重要な点である。



② 『保育所・小学校の連携』～交流会で得たもの～

上野原市立第二保育所

【まとめ】 交流を通じ、先生や小学生と顔見知りになり緊張感が和らいだ。学校生活にふれることで、施設や生活の流れが理解でき不安が少なくなった。小学校を身近に感じ、小学校に憧れ入学の期待感が高まった。課題としては小学校統廃合の問題が取り上げられた。

③ スムーズなスタートは連携から

山中湖村立東小学校・山中湖村立平野保育所

【まとめ】 教職員の交流により、継続的に情報交換が出来、小学校・保育所の様子がそれぞれよくわかり、入学に向けてお互いに理解し合うことが出来た。無理のない継続した連携が望ましい。今後も負担が大きくならないように継続していきたい。

V. 第10回小林雅英野球教室 12月12日(日) 大月市営野球場

冬晴れの素晴らしい天候のもと、選手約260名、その他約200名の保護者、関係者が参加する中、北都留地域教育推進連絡協議会「地域教育・明日の風」主催の小林雅英投手の野球教室が開催されました。小林投手は前半の投手指導では、各チームの投手一人一人を手取り足取り熱く指導し、又、後半の交流会では質問コーナーやじゃんけんゲームで参加者と交流を深めていました。選手たちはとても素晴らしい思い出に残る経験をする事ができました。一つ一つの質問に丁寧に答えている小林選手の言葉に野球への強い思いを感じました。指導者へは「選手の気持ちを大切にしてください。味方の中に敵を作らないで下さい。」とのアドバイスもありました。地元の選手として来年度オリックスでの活躍が大いに期待されます。応援しましょう。



(たくさんの参加者)



(がっちり握手)



(丁寧にわかりやすい指導)